



今日も私は
男たちの要求に従って
犯されている



ふっ……くっ
……ん……おッ

げんげん



げんげん
げんげん

彼等の仲間内に出回った
あの写真を消させるために



げんげん

げんげん



熱く粘っこい精液を
何度でも子宮で受け止める

ブル

ブル

げんげん

げんげん

気持ちよさそうだねー
巴ちゃんw

ぐっちゅ

キッ

あ？
今イッてた
だろうが

イッてないわよ！

ふざけないでッ
アンタたちの
なんかで
感じるわけ
ないじゃない

ぐっちゅ

じやあ
せつかくこんな
デカイ乳してんだ

ぽんぽん

こっちも
弄って
やんねえとな？

え...
ちよつと

まさか...

ぐっちゅ

ぐっちゅ



乳首ばっかじゃなくコッチも忘れんなよ?



イッダウウツ!!

ツツツ

ツツツ



んべおツ!!

ツツツ

ツツツ



しゃ...しゃせいだ...
あわせて...ちくびつばす
なんてえ...♥

ほらしっかり
最後まで搾り取れよ

もうちくび
許し...んおお...♥

ツツツ

ツツツ

ツツツ

数時間後・・・
味を占めた男達はあれから
射精のタイミングに合わせ
必ず私の乳首を弄んだ

頭ではくるとわかっていても
乳首を潰されると勝手に膣を
締め付けてしまい、失神するまで
何度も男達のチンポを
楽しませたのだった

ほら巴ちゃん
起きないとまた
写真撮っちゃうよw

ん・・・お・・・
おお・・・♡

今日も無駄な努力
おつかれw

ひでえw

んんん